

当院における初期研修・専門医研修について

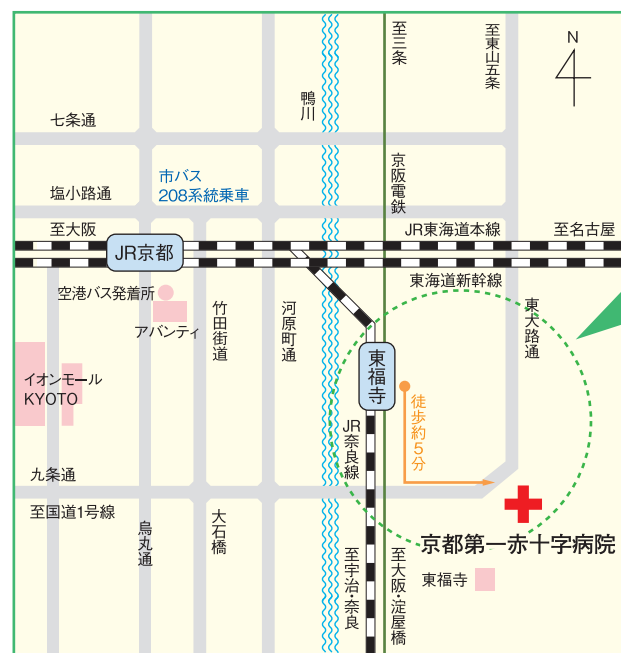
現行の臨床研修制度が開始されたH16年度より、当院は**研修指定病院として280名の初期研修医を輩出し**、専門医養成では、H30年度から開始となった日本専門医機構が中心となる新整備基準に準拠し、内科・救急科・麻酔科で基幹施設として専門医研修プログラム運営しています。R4年3月にはNPO法人卒後臨床研修評価機構（略称:JCEP）による第三者評価に合格し、研修医・専攻医ともに「落伍者ゼロ」を更新中です。

一方、**医学生実習（クリニカル・クラークシップ:CC）**にも積極的に協力しています。R元年105名であった受入れは、コロナ禍で50名(R2)、69名(R3)と減少したものの、123名(R4)、**113名(R5)**へ回復しました。医師法改正により、共用試験（CBT、Pre-CC OSCE）を合格した学生は「Student Doctor」と認められ、患者の同意・指導医の指導監視等の条件下で一定の医行為が許容されます。現状で大学卒業試験の一部として実施されているPost-CC OSCEが将来的には法制化予定であり、当院も医学生・研修医・専攻医の教育改革の流れに乗っていきたいと考えます。連携施設の皆様にも地域医療研修などを通じてお世話になることと存じますが、将来の医療を担う良質な医師育成にご協力を賜りたいと存じます。



Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東（右折）へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南（左折）へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】…… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東（左折）へ九条通りを約500メートル



京都第一赤十字病院

日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。Our world.Your move.



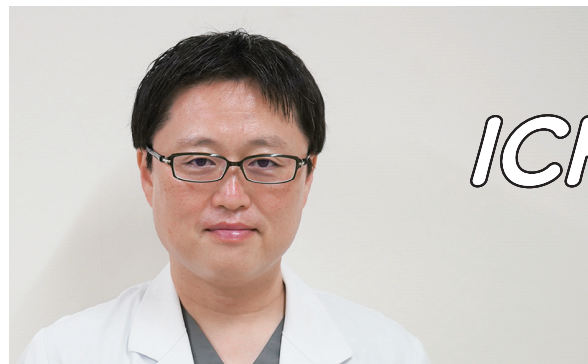
秋涼の候、みなさまいかがお過ごしでしょうか。酷暑、残暑のためか、春と秋の期間があっという間に過ぎ去っていくような気がする今日この頃です。

さて、人口減少社会に突入した日本においては、おおよそ15年後の2040年(京都医療圏では2035年)には、働き手である生産年齢人口が減少するも、医療を受ける中心となる高齢患者人口がピークとなります。また働き方改革の影響もあり、働き手の労働時間のこれ以上の超過も防がなければならない状況に直面しています。そんな中、**2024年度診療報酬改定では「医療DX推進体制整備加算」が新設**され、病院としても、この流れに追随してい

ないといけません。短期的なコスト増を嫌ってDX推進しない病院は、将来の生産年齢人口減という外部環境の急変に適応できず、「働き手不足倒産」として淘汰されるリスクがあります。そして**業務の効率化を進める上で重要な視点として、働き手のための効率化ではなく、患者さんによりよい医療を提供するために、その医療の質を上げることが重要**であることを我々は十分に肝に銘じておかねばなりません。

今後とも、よろしくご指導、ご支援いただきますよう改めてお願いします。

副院長 **大澤 透**



ICHIJYO
YUSUKE

IVRを行っています

副部長を拝命しました放射線診断科の一条です。京都府立医科大学を卒業、臨床研修後に放射線科を専攻しました。2019年より当院で勤務しており、特に**IVR** (Interventional Radiology) を専攻しています。IVRとは、Chat GPT-4oによると「画像診断を用いて体内に最小限の侵襲で治療を行う医療分野」だそうです。少々わかりにくいので当院での具体的な手技を列举しますと、外傷などの出血や内臓動脈瘤への血管塞栓術、肝癌の動脈化学塞栓療法、胃静脈瘤のBRTO、透析シャント血管の血行再建、CVポートやPICC留置、悪性大静脈症候群ヘス TENT 留置、CTガイド下での生検、膿瘍ドレナージ、癌の根治や緩和目的のRFAなどが主なところで。

いずれも画像を用いて行うことがIVRの特徴で、対象領域や疾患は多岐にわたります。皆様に質の高いIVRを提供できるよう精進してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

最近ハマっていること

ジョギング

フルマラソンを走っていた頃には全くいきませんが、怪我しないよう継続第一のんびりジョグを再開しています。



本年10月1日より当院旧ICU跡地を改修し、「**ロボット手術センター**」として新たに稼働を開始しました。ロボット手術の適応拡大にともない、同手術の件数が飛躍的に増加している現状に対して、専用手術室を2部屋増設し、2035年の医療需要ピークに向けて、われわれは「最高の基幹病院」として邁進してまいります。



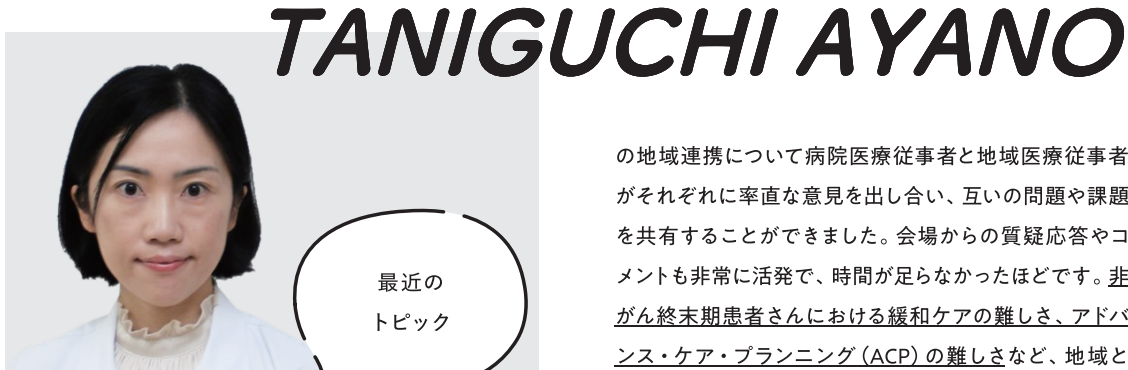
「ロボット手術センター」を
開設しました！



第17回緩和ケア合同カンファレンスのテーマは「**非がん疾患の在宅緩和ケア 地域との連携**」としました。みなさんにとって興味深いテーマだったようで、院内外合せて109名もの方にご参加いただきました。末期心不全の患者さんが当院からご自宅へ退院されたケースを取り上げ、当院からは循環器内科 安土佳大医師と岩本祐子看護師、在宅チームからはきむら心臓血管内科クリニック 木村雅喜医師と訪問看護ステーション神川 山本純観看護師にプレゼンテーションをお願いしました。その後のディスカッションでは、非がん終末期の患者さん



「非がん疾患の在宅緩和ケア」



最近のトピック

臨床倫理を深めることになりました。患者さんの思いに沿った医療を提供できるよう、勉強中です。

の地域連携について病院医療従事者と地域医療従事者がそれぞれに率直な意見を出し合い、互いの問題や課題を共有することができました。会場からの質疑応答やコメントも非常に活発で、時間が足りなかったほどです。非がん終末期患者さんにおける緩和ケアの難しさ、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の難しさなど、地域と病院の今後の課題としてみなさんと共有することができたと思います。

今回のカンファレンスが、**がん非がんを問わず緩和ケアの拡充や地域におけるACPの実践のきっかけとなれば幸いです。**

東福寺がん診療連携ワークショップ開催報告



多職種で取り組むがんの支持療法

2024年9月12日ホテルグランヴィア京都においてがん診療連携ワークショップ「多職種で取り組むがんの支持療法」を開催しました。ハイブリッド形式ですが、5年ぶりにコロナ前と同様の現地開催を行うことができ、約100名の方にご参加いただきありがとうございました。

一般演題では、がん相談支援センターの桐谷眞澄看護師長より「アピアランス（外見）ケア」ということで脱毛や皮膚障害について 当院の取り組み、薬剤部の小森桂子係長よ

り「薬剤師が取り組んでいる支持療法」ということで制吐薬を中心に薬剤師の活動、歯科口腔外科の堀智範部長より「口腔合併症とその対応」ということで口腔粘膜炎症や口腔感染症、薬剤関連顎骨壊死について発表をしていただきました。特別講演では関西医科大学付属病院呼吸器腫瘍内科学講座助教の勝島詩恵先生をお招きして「がん患者にもリハビリテーションは必要か～当院でのがん患者に特化したリハビリテーション外来の実例～」をご講演いただきました。がん治療を成功

させるためにがん悪液質をきちんと理解し、早期からの栄養・運動療法の介入が大切であり、QOL維持のための支持療法は病院と地域の皆様と一緒に取り組まないとけない課題であることを痛感しました。

今後も最新のがんの診断や治療の情報をお届けしながら、がん診療連携のあり方を地域の皆様と共に考えていく会にしていきたいと思っています。

臨床腫瘍部 部長

内匠 千恵子

ひとこと

患者さんとご家族の思いを大切にしながら日々のがん診療を行っています。



当院では、院内ICU、救急ICUに専任の理学療法士を配置し、早期離床・リハビリテーションの取り組みを行っています。多職種からなるチームを設置し、医師や看護師、療法士等が連携して、入室後48時間以内に、早期離床・リハビリテーションに関する計画を作成し、取り組みの開始と定期的な評価を実施しています。

今年の6月からA2病棟（救命救急病棟）に専任の作業療法士を配置し、多職種での早期離床・リハビリテーションの取り組みを開始しました。実施者が療法士だけに限らず、多職種によるリハビリテーションを患者様に提供しています。チームとして取り組むことでより安全に効率的なリハビリテーション治療をすすめ、集中

治療後の早期回復へ繋がられるよう、尽力しています。また、今回は作業療法士を配置していますので、歩行・離床だけではなく、その先にある「その人らしい生活の獲得」を見据え、早期から活動を広げていけたら、と思っています。

超急性期から

「その人らしい生活」の獲得に向けて

院内ICU、救急ICUに専任理学療法士配置

西村 香

リハビリテーション科
作業療法士 係長

リハのひとこと

救急病棟にいらっしゃる患者様は当時のリハビリの記憶がないと仰ることもあります。一般病棟でお元気な姿をお見かけしたときは嬉しく思います。

リハビリテーション科 理学療法士

川口 直輝

B-SES（ベルト電極式骨格筋電気刺激法）による運動台用機器「G-TES」が新たに導入されました！



90th anniversary

創立90周年記念

京都第一赤十字病院
フェスティバル
2024

Message 01

当院は昭和9年11月に現在地で設立され、今年11月に**創立90周年**を迎えます。そこで、「次の100年へのスタートとなるよう、地域医療機関・患者をはじめとした府市民へ存在アピールを行うとともに、働く職員にとって価値共有の機会とする。」ことを目的として、病院開設90周年記念事業が企画されました。そのひとつが8月3日開催の京一フェスティバルとなります。他には、キャッチコピー設定、医療機関向け事業でのアピール、市民公開講座、防災セミナー、100周年への準備・資料収集、職員食堂の特別メニューなどが企画・検討されています。

創立90周年記念事業実行委員会 委員長 | 沢田 尚久



能登半島地震活動報告



隠れハートラを探せ



ハートラちゃんと記念撮影



ハンドベル演奏
By京都聖母学院



フォトブース



ワクワクミニコンサート
By京都第一赤十字看護専門学校



採血 蚊の気持ち!?



レントゲン
目に見えない光のパワー



SDGs医療廃材アート



完成した作品は整形外科、小児科待合に展示しました



心電図 このお山ってなんだろう



病院たんけん隊



目の検査



耳の検査



ヘリポート見学



車いす体験



ユニフォーム体験
By住商モンブラン



今熊野橋架替工事について
By京都市建設局



トランシーバー体験

日頃より連携している医療機関や関係施設、患者さん、地域住民の方々への感謝を伝えるため、「**京一日赤90年の歩み、変わらぬ使命**」というスローガンを掲げ、京一フェスティバルを8月3日に開催致しました。当日は約1,100人の方にご参加いただきました。

開催に際し、東山警察署・東山消防署による緊急車両展示、京都市橋梁健全推進課による今熊野橋工事の進捗と住民へのミニ講座、ユニフォーム体験、今熊野商店街振興組合や株式会社セレマによるマルシェ、聖母女学院学生のハンドベル演奏など多くの方にご協力いただきました。また、血液センターによる献血クイズ、本学生による歌やレモネードスタンド、薬剤のキャップを再利用したSDGsアート、ヘリポート見学、採血体験、車椅子体験、心肺蘇生、謎解きリラクスラリー、栄養教室、能登半島地震で実践したハンドケアなど、それぞれ専門性を生かした催しとなりました。アンケートでは子供も大人も楽しめたというご意見を多数いただき、職員もハッピーな1日となりました。

創立90周年記念事業実行委員 | 田中 由美子

Message 02



助けよう体験



パトカー
By東山警察署



救急車



起震車



消防おしごとコーナー
By東山消防署



調剤体験 薬剤師になってみよう



レモネードスタンド
By京都第一赤十字看護専門学校



今熊野商店街協力ブース
By今熊野商店街振興組合



コーヒーマルシェ
By株式会社セレマ



癒し体験 シンプルネイル



癒し体験 ハンドケア



栄養健康ミニ講座



なぞ解きリラクスラリー



ルーレットチャレンジ



献血クイズ
By京都府赤十字血液センター



消防車
By東山消防署

Kids seminar

医療体験

キッズセミナー

2024

2015年から始まったキッズセミナーは、コロナで休止が3年あったものの、昨年に続き、今年第7回が開催できました。今年は当院創立90周年の病院フェスティバルを兼ねての企画ということで、参加できる人数を例年の倍とすべく、初めて四部制としてみました。実質、各自の体験時間は半分という新形式でしたが、概ね好評のうちに終われたのではないのでしょうか。キラキラした目で、飛び跳ねながら、『この病院のお医者さんになりたいです!』と言ってくれる子もいて、すっかり1日の疲れを吹き飛ばしてくれました。このセミナーの参加者が当院職員に加わってくれる日もそう遠くないかもしれません。子供達に夢を少しでも与えられたらと思いますので、皆様今後ともご協力をお願いします。

消化器内科 | 戸祭 直也

外科ブース



先生に手伝ってもらいながら上手にできています

手術着体験



3Dカメラ



腹腔鏡手術

誰が1番にミッションクリアできるかな?

消化器内科ブース



胃カメラ

間近で見る医療器具にも興味津々



内視鏡処置具



胃カメラ

優しく教えてもらいながら集中して取り組んでいました

脳卒中センターブース



コイル塞栓

脳動脈瘤って? 先生にいろいろ教えてもらう時間

臨床工学技士ブース



人工呼吸器に繋がった豚の肺を触ってみよう!



心臓カテーテル治療

2人の息ぴったりな掛け合いが好評だった治療体験



血栓回収



コイル塞栓



血栓回収

本物の臓器に緊張!

1秒でも早くかつ丁寧に取り出すために奮闘